

次期文化芸術振興計画 骨子（案）

理念：個性豊かな新しい千葉文化の創造

基本目標：個性…伝統的な地域文化や遺産の継承を基本に、千葉らしさという文化的個性の形成をめざす。
 世界性…東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に千葉文化を発信する
 市民主体…市民主体を基本に、企業や教育機関等と行政が協働して新しい千葉文化の振興をめざす。

次期計画における重点目標：市民主体

「広げる」「育てる」「支える」「つなぐ」「活かす」をキーワードに千葉文化の基礎を築き、市民主体の自立した文化芸術活動を盛り上げるための循環をつくる

基本施策 1

文化芸術に親しむ市民の裾野を「広げる」

(1) 多彩な文化芸術イベントの開催

- ①多くの市民が参加できるような文化芸術イベントの充実・発展
- ②身近な場所で気軽に文化に触れる機会の充実
- ③メディア芸術などの新しい分野を取り入れた事業の推進

(2) 参加・体験型活動の推進

- ①ワークショップ形式等による体験型活動の促進
- ②教育活動との連携

基本施策 2

文化を創造する人材を「育てる」

(1) 文化芸術活動を楽しむ市民への支援
※アマチュア(趣味として楽しむ人)

- ①文化芸術活動への参加促進
- ②活動への支援 または活動者の交流支援
- ③発表の場の提供

(2) 芸術家の発掘と育成
※プロを目指すまたは新人

- ①顕彰制度の効果的な実施
- ②新進芸術家への支援の充実

(3) 文化芸術活動を支える人材の育成
※文化芸術の裏方育成

- ①アートマネジメント人材等の育成
- ②ボランティアの育成

基本施策 3

文化芸術を育む場を「支える」

(1) 文化芸術活動の場の充実
(ハード)

- ①文化施設の効果的な運営と機能の向上
- ②文化施設以外の場の文化芸術への活用
- ③文化施設の再構築に向けた検討

(2) 活動しやすい環境の整備
(ソフト)

- ①文化団体等が行う文化芸術活動への支援
- ②個人が行う文化芸術活動への支援

(3) 伝統文化の継承・発展

- ①伝統文化の理解促進
- ②伝統文化の保存・継承

基本施策 4

千葉文化の担い手を「つなぐ」

(1) 情報の効果的な収集・発信

- ①必要な人に必要なものを効率よく伝える
- ②文化芸術に係る拠点機能の強化

(2) 多様な協働・連携の促進

- ①企業メセナ活動の促進
- ②産・官・学の連携の促進
- ③交流の場をつくる

基本施策 5

文化芸術によって千葉の魅力を「活かす」

(1) 魅力ある資源の活用

- ①歴史の中の文化芸術的要素の発掘・活用
- ②地域資源の発掘・活用
- ③若者文化(サブカル)等の新たな文化的資源の発掘・活用

(2) 魅力ある人材の活用

- ①市に縁のあるアーティスト等の活用
- ②文化芸術活動を支える人材に活躍の場を提供する

重点プロジェクト

東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした文化芸術施策の発信強化

※先の資料送付では、「東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けての文化芸術施策の発信強化」と表現していたが、一過性ではなく、今後も継続を求めていることから、「東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした文化芸術施策の発信強化」とする

資料4

アンケートから見える現状と課題の反映

A

気軽に文化芸術を楽しむことができる身近な催しの充実

D

歴史の中の文化的要素の発掘・活用、地域資源の発掘・活用

C

必要な人に必要なものを効率よく伝える広報の充実

B

文化芸術体験の共有を基にした交流の場づくり

D

歴史の中の文化的要素の発掘・活用、地域資源の発掘・活用

E

若者・子どもの文化芸術体験の充実
※反映場所は、今回の意見を聴取したうえで決定する予